



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 明和産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 8103 URL <https://www.meiwa.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 毅
問合せ先責任者 (役職名) 主計財務部長 (氏名) 松木 宏道 (TEL) 03-3240-9534
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	74,992	△7.2	1,229	△38.0	1,583	△15.7	971	△11.4
2023年3月期第2四半期	80,819	17.4	1,981	33.0	1,878	28.6	1,096	△12.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,771百万円(△31.0%) 2023年3月期第2四半期 2,567百万円(38.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	23.27	—
2023年3月期第2四半期	26.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	82,777	36,546	43.6
2023年3月期	80,725	35,922	43.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 36,100百万円 2023年3月期 35,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	2.1	2,600	△28.9	3,500	10.4	2,200	27.8	52.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	41,780,000株	2023年3月期	41,780,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	146,187株	2023年3月期	16,987株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	41,726,098株	2023年3月期2Q	41,763,127株

(注) 2024年3月期第1四半期連結会計期間より、業績連動型株式報酬制度を導入しております。

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、当該制度に係る株式交付信託の保有する当社株式129,200株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としているものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、749億9千2百万円と前年同期の7.2%にあたる58億2千6百万円の減収、営業利益は12億2千9百万円と前年同期の38.0%にあたる7億5千2百万円の減益、経常利益は15億8千3百万円と前年同期の15.7%にあたる2億9千5百万円の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については、9億7千1百万円と前年同期の11.4%にあたる1億2千5百万円の減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は23.27円となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・売上高については、第一事業は好調に、第三事業が前年同期並に推移したものの、第二事業、自動車・電池材料事業が低調に推移したため減収となりました。
- ・営業利益については、売上高の減少により減益となりました。
- ・経常利益については、持分法適用会社において収益が回復したことにより営業外損益が改善したものの、営業利益の減少、投資先からの受取配当金の減少により減益となりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記要因の結果、減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「その他」区分における事業の一部取引を「第三事業」に移管いたしました。

これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

セグメントごとの主な事業及び主な取扱商品は次のとおりであります。

セグメントの名称	主な事業	主な取扱商品
第一事業	資源・環境ビジネス事業 難燃剤事業 機能建材事業	レアアース・レアメタル、環境関連、金属関連 難燃剤 断熱材、防水材、内装材
第二事業	石油製品事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤
第三事業	高機能素材事業 機能化学品事業 合成樹脂事業 無機薬品事業	フィルム製品、印刷原材料 製紙薬剤、粘接着剤 合成樹脂原料、合成樹脂製品 無機薬品
自動車・電池材料事業	自動車事業 電池材料事業	自動車部品関連 電池材料

① 第一事業

売上高は、208億6千8百万円と前年同期の6.1%にあたる12億円の増収、セグメント利益につきましては、7億4千8百万円と前年同期の8.4%にあたる5千7百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・資源・環境ビジネス事業は、資源関連、環境関連、金属関連ともに前年同期並に推移しました。
- ・難燃剤事業は、前年度の需要増の反動により、低調に推移しました。
- ・機能建材事業は、断熱材、内装材は好調に推移し、防水材は前年同期並に推移しました。

② 第二事業

売上高は、231億3千5百万円と前年同期の18.8%にあたる53億4千4百万円の減収、セグメント利益につきましては、2億5千4百万円と前年同期の72.2%にあたる6億6千2百万円の減益になりました。

これは主に各取引が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・国内向けベースオイルは好調に推移したものの、添加剤は前年同期並に推移しました。また、海外向けベースオイル、添加剤は需要が減少し、低調に推移しました。
- ・中国潤滑油事業は、産業機械潤滑油は前年同期並に推移しましたが、冷凍機油は低調に推移しました。

上記に加えて、前第1四半期連結累計期間において、期ずれにより計上した受取配当金の反動減も、セグメント利益減益の要因となりました。

③ 第三事業

売上高は、282億7千4百万円と前年同期の4.1%にあたる11億9千5百万円の減収、セグメント利益につきましては、4億2千6百万円と前年同期の23.3%にあたる1億2千9百万円の減益になりました。

これは主に各取引が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・高性能素材事業は、フィルム製品・印刷原材料ともに低調に推移しました。
- ・機能化学品事業は、粘接着剤は前年同期並に推移したものの、製紙薬剤は低調に推移しました。
- ・合成樹脂事業は、合成樹脂原料、合成樹脂製品ともに前年同期並に推移しました。
- ・無機薬品事業は、好調に推移しました。

④ 自動車・電池材料事業

売上高は、27億1千3百万円と前年同期の15.2%にあたる4億8千6百万円の減収、セグメント利益につきましては、1千6百万円と前年同期から3億7千8百万円の増益（前年同期は3億6千2百万円の損失）になりました。

これは主に以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・自動車事業は、持分法適用会社における収益が改善し、増益になりました。
- ・電池材料事業は、自動車用などの電池材料販売の売上が低調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、827億7千7百万円と前連結会計年度末の2.5%にあたる20億5千2百万円の増加となりました。負債は、462億3千1百万円と前連結会計年度末の3.2%にあたる14億2千7百万円の増加となり、また、純資産は365億4千6百万円と前連結会計年度末の1.7%にあたる6億2千4百万円の増加となりました。

この結果、自己資本比率は43.6%となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・総資産については、主に現金及び預金と売上債権の増加により、流動資産が前連結会計年度末の2.7%にあたる16億9千3百万円の増加となったことによるものであります。
- ・負債については、主に仕入債務の増加により、流動負債が前連結会計年度末の2.4%にあたる9億7千8百万円の増加となったことによるものであります。
- ・純資産については、主に円安による為替換算調整勘定が前連結会計年度末から8億8千7百万円の増加となったことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,418	9,595
受取手形、売掛金及び契約資産	36,260	36,732
電子記録債権	9,421	10,343
商品	8,721	7,973
その他	869	747
貸倒引当金	△224	△231
流動資産合計	63,466	65,160
固定資産		
有形固定資産	1,079	1,348
無形固定資産	141	122
投資その他の資産		
投資有価証券	14,911	15,163
その他	1,148	1,017
貸倒引当金	△22	△34
投資その他の資産合計	16,038	16,146
固定資産合計	17,258	17,617
資産合計	80,725	82,777
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,417	33,064
短期借入金	7,258	6,561
1年内返済予定の長期借入金	590	70
未払法人税等	880	391
賞与引当金	703	594
役員賞与引当金	—	9
その他	730	867
流動負債合計	40,579	41,558
固定負債		
長期借入金	87	551
退職給付に係る負債	847	836
株式報酬引当金	—	9
その他	3,288	3,274
固定負債合計	4,223	4,672
負債合計	44,803	46,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,024	4,024
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	22,370	22,296
自己株式	△4	△89
株主資本合計	29,151	28,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,124	3,995
繰延ヘッジ損益	△3	7
為替換算調整勘定	2,313	3,200
退職給付に係る調整累計額	△110	△96
その他の包括利益累計額合計	6,323	7,107
非支配株主持分	447	445
純資産合計	35,922	36,546
負債純資産合計	80,725	82,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	80,819	74,992
売上原価	74,823	69,621
売上総利益	5,995	5,371
販売費及び一般管理費	4,014	4,142
営業利益	1,981	1,229
営業外収益		
受取配当金	204	60
持分法による投資利益	—	155
助成金収入	—	99
その他	70	92
営業外収益合計	274	408
営業外費用		
支払利息	65	35
持分法による投資損失	185	—
その他	126	19
営業外費用合計	377	54
経常利益	1,878	1,583
特別利益		
固定資産売却益	—	0
負ののれん発生益	25	—
その他	5	—
特別利益合計	30	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,909	1,582
法人税、住民税及び事業税	767	463
法人税等調整額	4	132
法人税等合計	772	595
四半期純利益	1,137	987
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,096	971

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,137	987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	△359
繰延ヘッジ損益	1	11
為替換算調整勘定	507	429
退職給付に係る調整額	31	20
持分法適用会社に対する持分相当額	702	683
その他の包括利益合計	1,430	784
四半期包括利益	2,567	1,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,528	1,754
非支配株主に係る四半期包括利益	39	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	17,518	2,876	27,481	1,219	49,095	0	49,095
中国	644	24,182	822	1,873	27,523	—	27,523
その他	1,505	1,420	1,166	107	4,200	—	4,200
顧客との契約から生じる収益	19,667	28,480	29,470	3,200	80,819	0	80,819
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,667	28,480	29,470	3,200	80,819	0	80,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	62	76	—	157	—	157
計	19,686	28,542	29,546	3,200	80,976	0	80,976
セグメント利益 又は損失(△)	690	917	555	△362	1,801	△16	1,785

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	1,801
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△16
セグメント間取引消去	△39
全社費用(注)	132
四半期連結損益計算書の経常利益	1,878

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	18,804	2,670	26,748	1,077	49,302	—	49,302
中国	776	19,553	812	1,587	22,730	—	22,730
その他	1,286	910	713	48	2,959	0	2,960
顧客との契約から生じる収益	20,868	23,135	28,274	2,713	74,992	0	74,992
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,868	23,135	28,274	2,713	74,992	0	74,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	57	5	—	77	0	78
計	20,883	23,193	28,280	2,713	75,070	1	75,071
セグメント利益 又は損失(△)	748	254	426	16	1,445	△64	1,381

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	1,445
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△64
セグメント間取引消去	△42
全社費用(注)	244
四半期連結損益計算書の経常利益	1,583

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「その他」区分における事業の一部取引を「第三事業」に移管いたしました。

これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

詳細につきましては、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご参照ください。